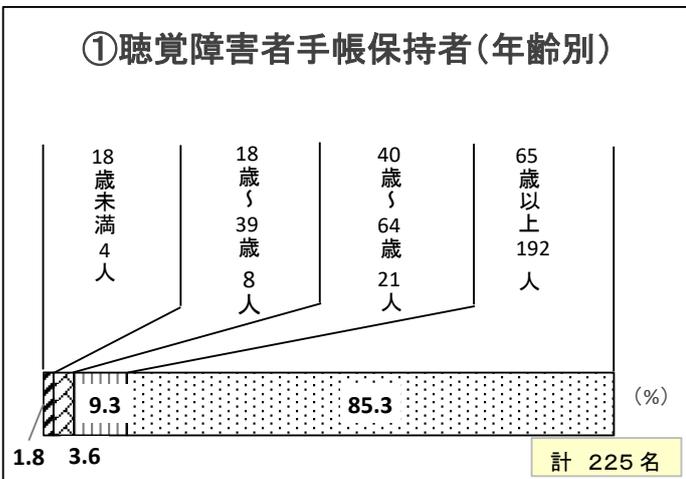


聴覚障がい及び手話等の普及啓発に関するアンケート結果

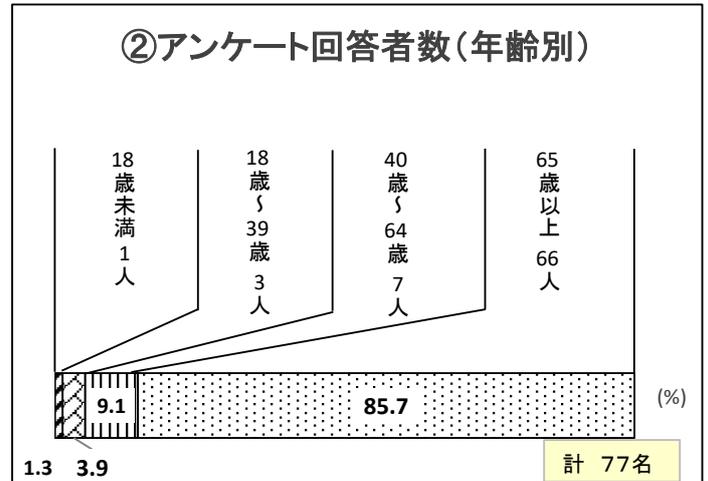
◆対象者：聴覚障害の身体障害者手帳所持者 225名
うち回答者 77名（34%）

◆目的：聴覚に障がいのある方の状況を把握し、手話言語条例制定及び今後の障がい福祉施策の基礎資料とする。

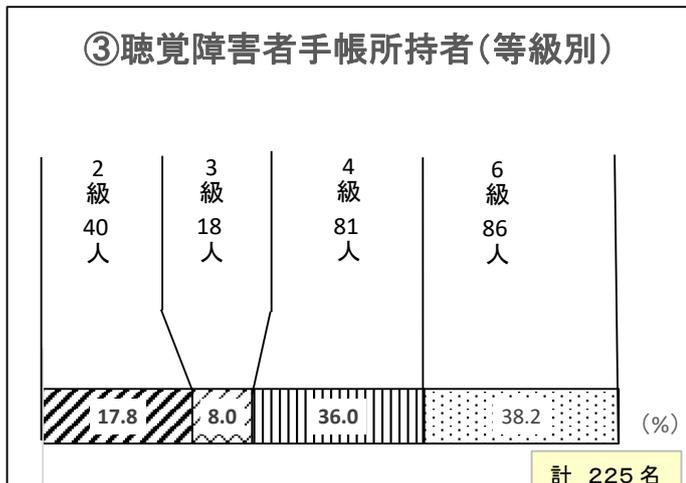
①聴覚障害者手帳保持者（年齢別）



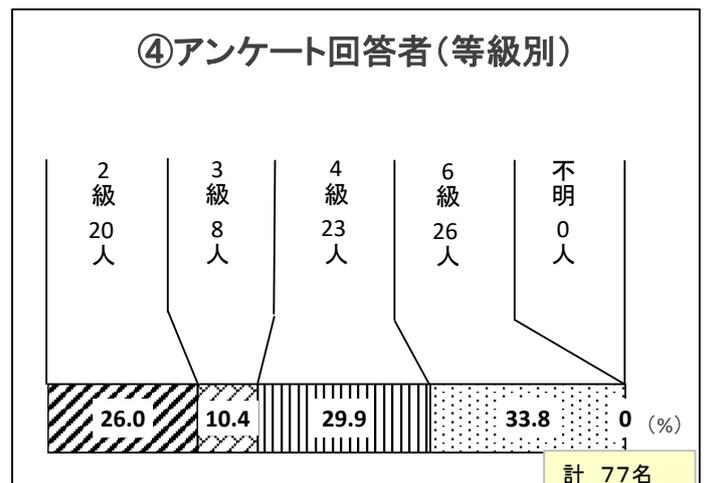
②アンケート回答者数（年齢別）



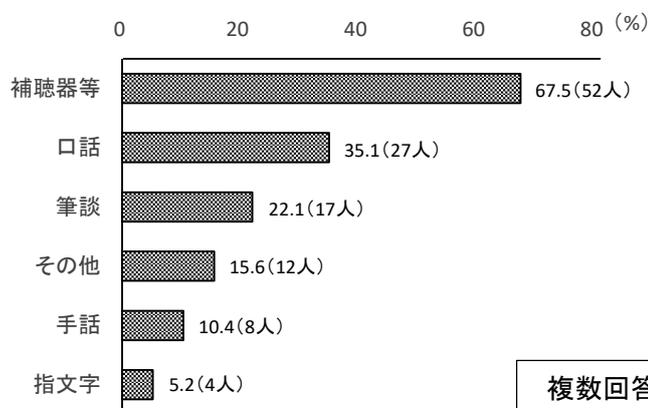
③聴覚障害者手帳所持者（等級別）



④アンケート回答者（等級別）



⑤コミュニケーション手段



(その他)

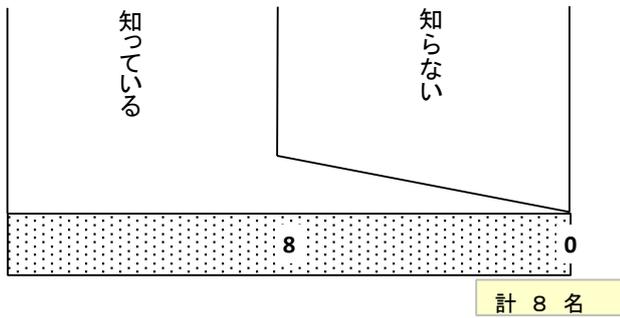
- ・ 写真を使う
- ・ 身ぶり
- ・ 1対1では聞こえるが、団体の中では聞こえない。
- ・ 大きな声で話す。
- ・ 繰り返してもらおう。
- ・ 静かな所だと少しは聞こえる。
- ・ 補聴器を使って聞こえる時と聞こえない時がある。
- ・ 大きな声で、耳のそばで話してもらおう。
- ・ そばでゆっくり、一つ一つ話をする。
- ・ 調子が良いと口話で分かるが、認知症等もあり理解が難しい時もある。

※年齢別手話使用者 (8名)

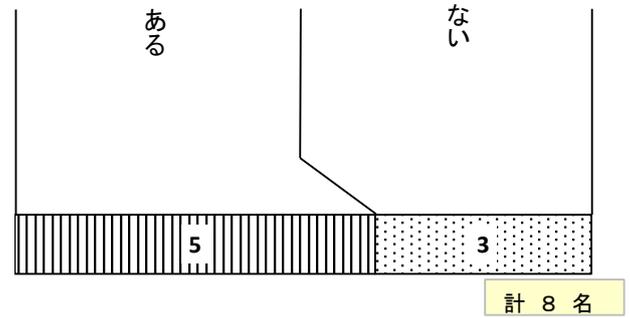
18歳未満	1人
18歳～39歳	2人
40歳～64歳	4人
65歳以上	1人

⑤でコミュニケーション方法が手話と回答した方

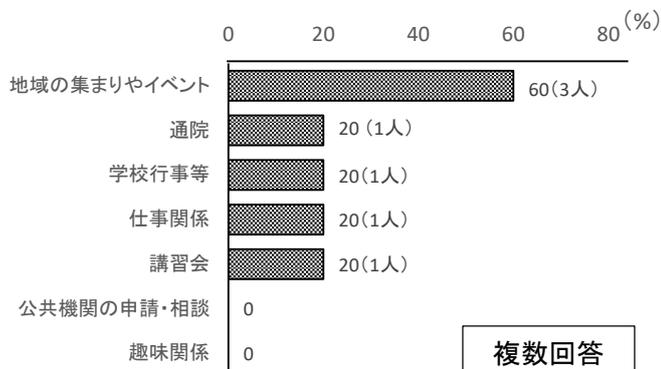
⑥手話通訳者等を知っているか



⑦手話通訳を利用したことはあるか

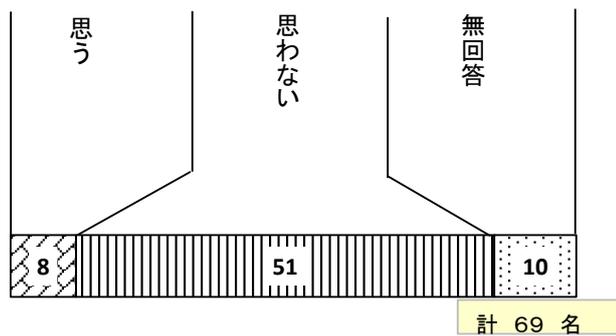


⑧手話通訳の用途



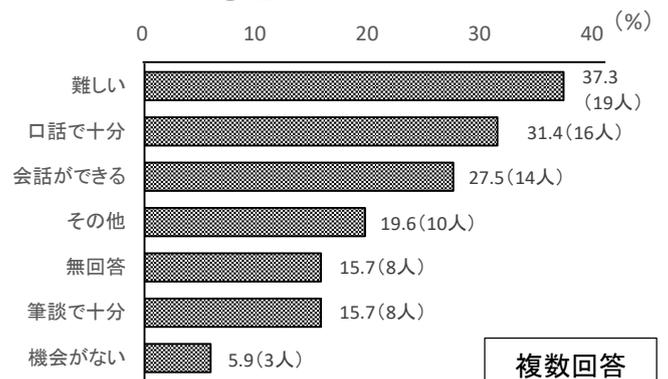
⑤で手話以外と回答した方

⑨手話を使いたい・覚えたいと思うか



⑨で思わないと回答した方

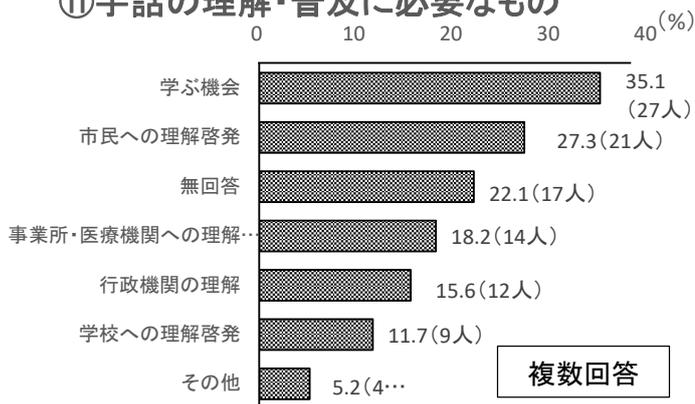
⑩思わない理由



(その他)

- ・高齢のため。
- ・理解力低下。
- ・特別な方法を必要としていないため。
- ・年齢的に周りの人が手話を覚えることが難しい。
- ・知らない方と接触したくない。
- ・認知症であり高齢。自由に動くことができない。
- ・覚えるのに時間がかかりそうなので、筆談の方が良い。
- ・身近に手話ができる人がいない。

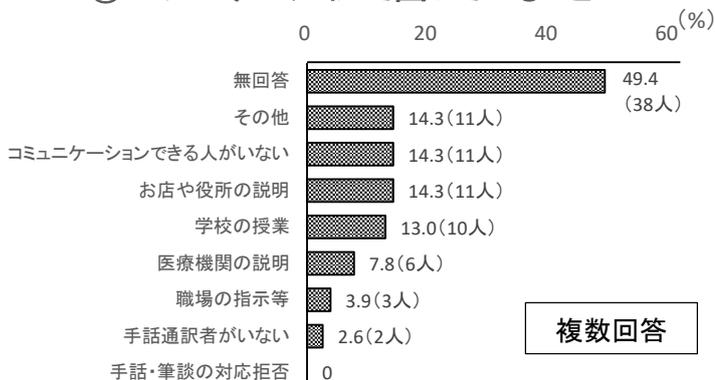
⑪手話の理解・普及に必要なもの



(その他)

- ・友人との会話。
- ・子どものうちに親しむことが早道のように思う。
- ・身近に手話を理解する人がいない。

⑫コミュニケーションで困っていること



(その他)

- ・大きな声で話してほしい。
- ・マスク着用のまま話しかけられると、聞き取れない。
- ・カードを見せる、大きい声で言ってもらおう。
- ・いつも隣に付添が必要。
- ・話が聞き取りにくい。
- ・何回も繰り返してもらったのが悪い。
- ・配偶者がいるうちは良いが、今後のことが心配。
- ・補聴器でスムーズな会話に戻ると思ったが、聞き取れないことがある。

その他 意見・要望等

- ・電話はよく聞き取れないことが多く、困る。
- ・手話を広げてほしい。
- ・手話サークルにたくさんの方が入会してくれると嬉しい。
- ・耳は悪くなる一方。高齢のため手話を覚えることができるか不安。
- ・時々内容が分からない時がある。年と共に不安がある。
- ・声の低い人や後方からの聞こえ方が不十分なことが多々あり困る。
- ・コロナの影響でマスク着用が増えたが、そのまま話しかけられると聞き取れないため、マスクを外して話してもらっている。知人等は会話方法が分かっており、口話法で対応してくれている。
- ・健聴者は話すのが早く、聞き取れないことが多い。もう少しゆっくりはっきり、相手の顔を見て話してほしい。言葉が聞こえないと手話を覚えるのが難しい。
- ・役所等で自分のことを説明すると、用紙とペンを準備してくれて有難い。手話を覚えておくと楽しくなることもありそう。
- ・補聴器使用により目眩を起こすため、3年前から止めている。
- ・最低限でも福祉の窓口職員は、理解のある方をお願いしたい。
- ・友人が理解があるので、楽しく過ごしている。サロンに入っている。
- ・手話を覚えたかったが、機会がなかった。高齢のため覚えられない。
- ・今は配偶者と二人で暮らしており、子も近くにいないため、何かあったときに心配。
- ・補聴器のおかげで普通に会話でき助かっている。若ければ手話を習得して困っている方の力になりたかった。
- ・普通の人は耳の遠い人とコミュニケーションをとる時に、大きな声で話さないといけないのでとても疲れるらしく、聞こえなくても聞こえたふりをしてしまうことが多くて困る。
- ・聴覚障がい者に対して理解が薄い。口をみて口話する人もいる。店などカウンターで聴覚障がい者の対応ができるようにしてほしい。
- ・補聴器の補填が充分でない。両耳使用となると2倍。高額医療費にも該当せず、この先の困りごと。
- ・コミュニケーションは手話が早く一番良いが、覚える機会が少なく会話レベルまで獲得できていない。手話で話せても、事業所に手話の分かる方がいないため、結局筆談になってしまうことが残念。
- ・マスク着用が多くなり、口話しかできない人にはコミュニケーションが難しくなり、時間がかかる。簡単な手話であればマスクをしても伝わると思う。
- ・病院に行く時はいつも付き添ってもらっている。